

令和3年度 第1回 和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和3年7月26日(月) 和歌山市消防庁舎 3階 多目的ホール		
出席委員氏名	井伊 博行 (委員長) 後 亮 奥 智香子 齊藤 久美子 五十音順		
審議対象期間	令和2年10月1日～令和3年3月31日		
抽出案件(総件数)	都市建設局 2件 企業局 2件	議 事 1 委員長及び委員長職務代理者の選任について 2 入札及び契約手続の状況について 3 抽出事案について 4 その他	
一般競争入札 (事前審査型)	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(電子入札方式))	都市建設局 2件 企業局 2件		
公募型指名競争入札	都市建設局 1件 企業局 1件		
指名競争入札	都市建設局 1件 企業局 1件		
随意契約	都市建設局 1件 企業局 1件		
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし		

和歌山市入札監視委員会
令和3年度 第1回 会議録

<p>[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]</p> <p>① 和歌浦湾増殖場造成工事その2</p>	<p>(事務局) 抽出事案の概要説明</p> <p>本工事は、和歌浦湾沿岸において、マダイ等の稚魚の成育に適した環境に必要な餌の供給源や隠れ場を増殖用ブロックのシェルナースプラス1.3型を設置することにより構築し、漁獲量の増大・所得向上・漁家経営の安定化を図ることを目的とするものです。</p> <p>工事内容は、陸上でシェルナースプラス1.3型を製造し、船舶に積み込み和歌浦湾沿岸の海底に設置する工事になります。</p> <p>本工事の公告は2回しており、1回目の公告は不調となっております。</p> <p>1回目は令和2年10月6日に対象業者を「市内」「入札参加者1者取り止め」で開札を行い、入札参加者が株式会社坂口興業1者だけであったため、取りやめとなりました。</p> <p>2回目は令和2年10月27日に対象業者を「市内・準市内」「入札参加者1者有効」で開札を行い、入札参加者が1者で株式会社坂口興業と契約に至りました。</p> <p>本工事では、施工に関して船舶を使用する工事であるため、入札参加条件で、「船舶を使用した港湾又は海洋工事」の施工実績があるもの、「港湾工事に係る起重機船又はクレーン付き台船を自社保有又は公告日以前に継続の傭船契約により確保していること」としており、業者の入札参加の有資格者数が狭まっています。</p> <p>また、船舶を使用する特殊な工事であることと、定着基質・シェルナース1.3型の施工基数が8基と少ないことから、諸経費の圧縮が難しかったため、入札参加者が1者と少なく、高い落札率になったものと考えられます。</p>
--	---

[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]

②新堀児童遊園、西庄東児童遊園ブロック塀撤去更新整備工事

（委 員）

船舶を使用する特殊な工事ということですね。わかりました。

（事務局） 抽出事案の概要説明

本工事は、平成30年に発生した大阪北部地震でブロック塀が倒壊する事故が起こったことで、和歌山市管理のブロック塀の点検を行った結果、危険な箇所があったため、順次改修を行っているものです。

工事内容は、公園の境界構造物として設置されたブロック塀を撤去し、新たにフェンスを設置する工事です。

競争入札の参加資格で、対象業種を『とび・土工工事業』又は『造園工事業』としており、入札参加可能業者数が多くなっていること。

工事場所が和歌山市で管理している公園内であることと、工事内容が既存のブロック塀を撤去し、新たにフェンスを設置するということで、工事を行うために必要な関係機関との調整が容易であり、専門的な技術を必要とする工種ではなく自社施工で対応できる工事内容であることから、入札参加者数が多く、落札率が低くなったと考えられます。

（委 員）

参加業者が多いが、一つの案件に同族会社や資本関係がある会社が、同時に入札することは可能ですか。

（事務局）

登記上別会社であれば可能です。

また、一般競争入札であるので公平性が保たれていると考えます。

[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]

③三沢町4丁目～雄松町6丁目工業用配水管布設替工事

(委員)

わかりました。

(事務局) 抽出事案の概要説明

本工事の発注業種としては、管工事業とし、市内業者で、配水管工事（企業局）の登録がされており、その総合点数が750点以上の者が入札参加可能の条件でした。

本工事の施工内容としましては、芦原地区の工場地帯において、老朽化した工業用水道の配水管を更新するため、新しい配水管を布設するものであり、工事場所は三沢町4丁目地内から雄松町6丁目地内までの供用中の道路となっております。

本工事の工事場所の北側を、前年度に施工しているのですが、その際に、地下埋設物が混雑しており、布設場所に大きく変更が生じた場所であるため、配水管工事の中では比較的、工事施工が困難と思われるものでありました。

「落札率が高い案件」ということで抽出いただきましたが、8者の応札があり、ランダム係数が1.013と比較的高く出たことにより、5者が失格となり、6番の株式会社中山建設が落札予定者となりました。

しかし、株式会社中山建設が同日に行われた別の配水管工事でも落札予定者となっていたため、配置予定技術者が確保できず、開札時間の遅い本工事を辞退することになり、次順位の株式会社崇翔が落札予定者となりました。

株式会社崇翔は、予定価格に近い、31,000,000円で応札していたことから、落札率が98.32%と高くなっています。

(委員)

わかりました。

[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]

④松江雨水ポンプ場築造工事

（事務局）抽出事案の概要説明

本工事は、土入川の右岸側に、松江地区の浸水対策として雨水を土入川に放流するための新しい雨水ポンプ場を建設するための基礎や土木構造部分を築造するものです。

入札参加者数についてですが、本工事は掘削深度が10m以上と深く、柱列式の地中連続壁工という特殊な工法を採用していることに加え、大掛かりな地下水位低下工が必要ですが、民家が隣接しているため、観測井戸などで周囲への影響を確認しながら施工する必要があり、難易度が高く、事業損失防止施設費や安全対策等において企業努力で経費を削減することが困難なことなどから、入札参加者が少なくなっています。

（委員）

わかりました。

【その他】

高落札率案件の管理について